

Holistic Medicoセルフケア研修

ー和学スピリチュアルケア研究

担当者	まどか 庸代（南山大学人文学部助教授／生命科学論／和学） 中村 智之（生活習慣病予防ファシリテーター） 大下 大圓（千光寺住職、高野山大学客員教授・スピリチュアルケアワーカー）
概要	<p>ホリスティックな医療／医学／生命観／学問観を、この身に感じてみませんか。1996年ホリスティック医学研究会が当センターで実り、ホリスティック生命論ワーク・かかわり医師・和学研究が生まれ、いのちのテーマを、2003年セルフケア一、和語によるスピリチュアルケアという視点で取り組んでいます。和学研究は、2005年和学スピリチュアルケア研究会で行います。</p> <p>生活習慣病予防士・指導士（ホリスティックプラクティショナー）のトレーニングも紹介します。自分や人々やいのちたちとの関わり方・捉え方（生命論的パラダイム）も体験型参加型ファシリテータートレーニングの場のつくりでしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ホリスティック ヘルス （まるごと 生老病死の医学医療看護生き方）2. スピリチュアル ヘルス （精神性・霊性・たましひ）3. メンタル ヘルス （精神・心理・こころ）4. メディカル ヘルス （医療・医学・看護）5. 和学・和語のいのち観 （自分化のスピリチュアリティ） <p>*和学スピリチュアル研究会（いのちことば ボイスセラピー 言霊学 臨床パストラルケア）</p> <p>医療医科学医学いのちの教育は、本来その時代の精一杯の学問をつなげる総体系と心得ます。21世紀の混沌とした価値観探りの時期に、静かでダイナミックな自身を意識しつつ、日本人の身に似合った和学・いのちの学問づくりを夢見つつ。…担当者は、「まどかなる」を「ホリスティック」の和語として、「自文化に根ざした」「自己統合力」を意識して、サロンの参加型研修会を企画しました。どうぞ、お出まし下さいませ。</p> <p>Holistic（ホリスティック）という言葉は、ギリシャ語holos（全体）を語源とする。 派生した言葉にwhole 全、heal 癒、holy 聖、health（heal+th 癒された状態）等があり、健全な状態、健康という言葉自体がもともと『全体』に根ざしている。… 現在、「全体」「関連」「つながり」「バランス」といった意味をすべて包括した言葉として解釈されている。的確な訳語がない為、そのまま「ホリスティック」という言葉が使われているが、意味する内容は決して新しく輸入された考えではなく、もともと東洋に根づいていた、包括的な考え方に近いものといえる。（日本ホリスティック医学協会より）</p> <p><ホリスティック医学の定義></p> <ol style="list-style-type: none">1 ホリスティック（全的）な健康観に立脚する2 自然治癒力をいやしの原点におく3 患者が自ら癒し、治療者は援助する4 様々な治療法を選択・統合し、最も適切な治療を行う5 病の深い意味に気づき自己実現をめざす
日程	火曜日 5回 18：30～21：00 (1)10月24日、(2)10月31日、(3)11月14日、(4)11月28日、(5)12月5日
定員	20名まで 本講座は、担当者も含めて、皆で研究研修し、体験から気づきあう参加型ファシリテーターレッスンの場です。参加者はいのち、生活習慣病予防士・指導士、ケア一、かかわりの医療に関心のある方すべて。 既にホリスティックな看護医療医学関係者、生活習慣病予防士指導士、内科医、外科医、和漢方関係者の参加予定されています。
会場	南山大学 D棟
研修費	25,200円
後援	日本ホリスティック医学協会・東海ホリスティック医学振興会 「生活習慣病予防指導士」の方が本講座を全て受講されると4単位（研修終了）取得できます。